

キャラクター名
 バート (バーソロミュールパーツ)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	カヴァー	軍人
	エンジェルハイロウ				
オプショナル	年齢		25	性別	男
覚醒	渴望	衝動	自傷	初期侵食率	40%
出自	罪の子	経験	昇進	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	3	0	3		1	7	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避	2		知覚	1		意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 軍事	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
光の剣	白兵	7r+4		5		光でつくりだした剣
天使の裁き[100↓]	白兵	7r+4		15		侵食値11:C値 :8:4+3+5+1:2使用後
天使の裁き[100↑]	白兵	7r+4		20		侵食値11:C値 :7:4+3+5+1:2使用後
熾天使の裁き[100↑]	白兵	7r+4		20		侵食値15:C値 :7:4+3+5+1+6:2使用後

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
使用人	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	リス	消費
父、もしくは母	P 憧憬	N 憎悪			
部下	P 好奇心	N 敵愾心			
ヴォルフラム・フォン・ジーバス	P 執着	N 隔意			
ヒュー・シンクレア	P 尽力	N 食傷			
	P	N			
	P	N			
	P	N			

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv(最低7)							
光の剣	1	2	セット	至近	自身	自動	-	
効果:	攻撃+[Lv +4]ガード値3							
獣の力	4	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果:	攻撃+[Lv ×2]							
鷹の翼	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	飛ぶ。ドッジのダイス+Lv個							
天を統べるもの	1	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	速い。攻撃+[Lv ×2]							
獣の王	1	4	メジャー	武器	単体	対決	100↑	
効果:	1シナリオ1回							
天使の外套	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	変身							
真昼の星	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	視力やばい							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

容姿メモ→<http://p.twipple.jp/yzyHM>

鏡が恋人なナルシスト。自分大好き。この世に降臨した天使を自称する。うざい。
 親はナチスに傾倒した裏切り者。親戚筋に引き取られたものの、他者からの風当たりは強く不遇をかこって生きてきた。原因である両親に対しては憎悪を抱いている。
 軍部に入り、日々美しさを探求し過ごしていたが、才能を見込まれ、ヒュー・シンクレアに引きめかれ、イギリス情報局秘密諜報部所属となる。
 忙しいのは悩ましいが、髪のか、フェイスケアなど諸々の時間は削らない。
 何があっても削らない。

能力の発動はキュマイラ→エンジェルハイロウ。
 自分に生えた翼を見て、自分は天使だったのだ、だから両親とは繋がりなどないのだ、と救いを求めたのが彼の根本となっている。天使は美しいものである、という意識があったため、美しさを求めた。今も求めている。
 自分の美しさを気に入っている。

ポジティブ: 尽力/ネガティブ: 食傷
 カヴァー/ワークス: 指定無し/諜報部員

君はイギリス情報局秘密諜報部…俗に言うMI6に所属する凄腕の00要員だ。
 ヒュー・シンクレア長官の信頼も厚く、常に第一線で活躍している。
 〇〇〇と言えば聞こえはいいが、要するに危険で困難な仕事を押し付けられているに過ぎない。